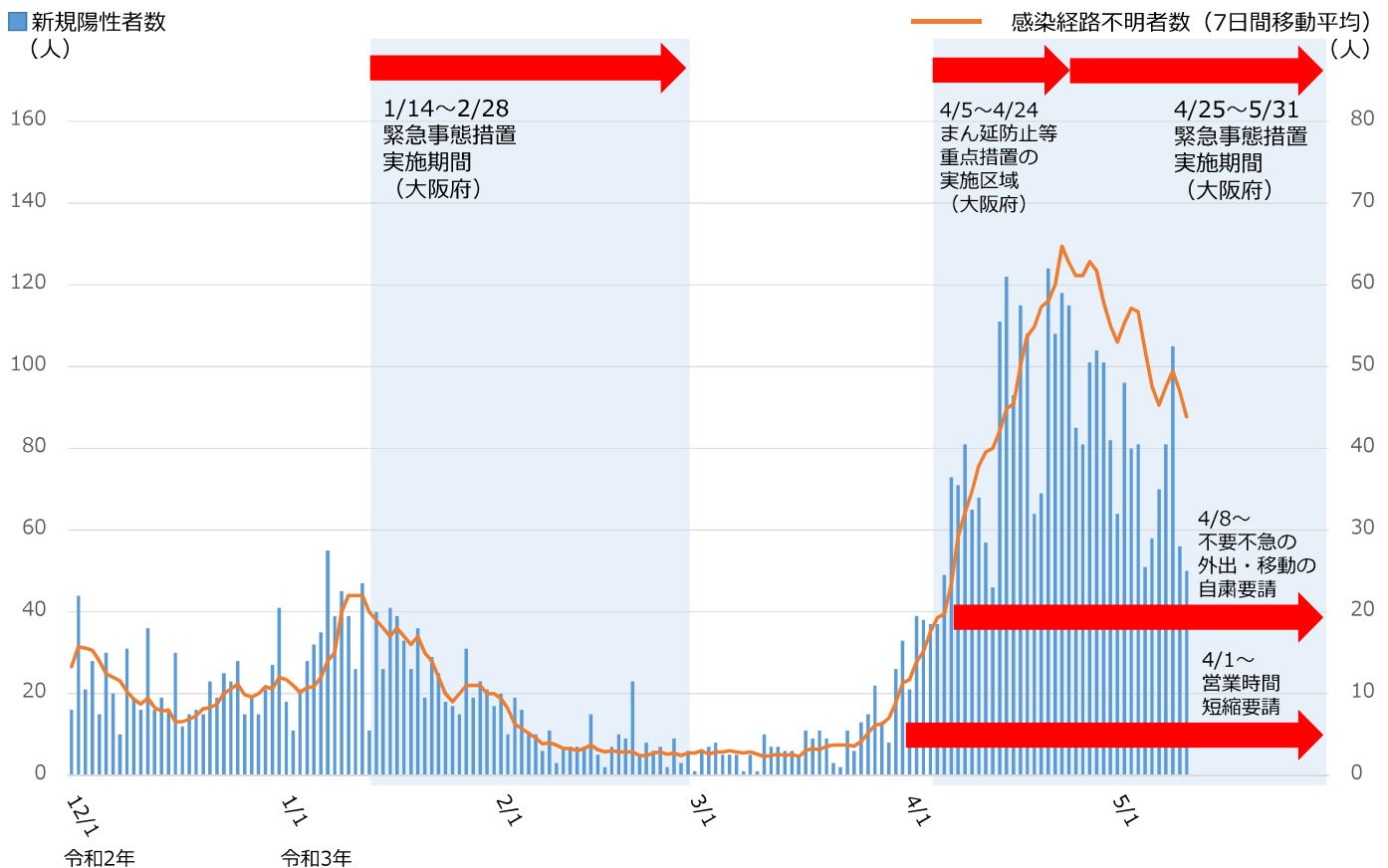


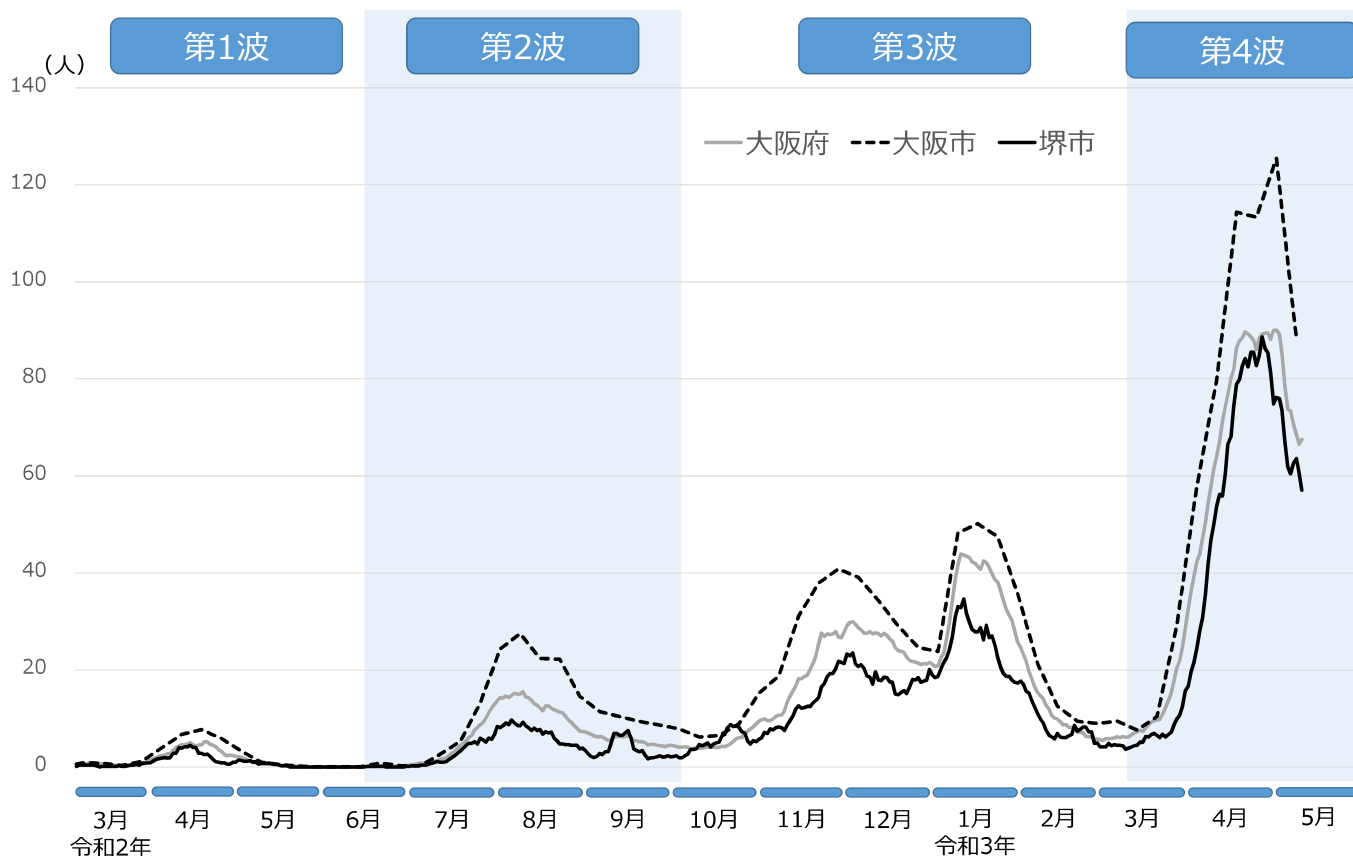
○新型コロナウイルス感染症

○待機児童数の公表

新規陽性者数と感染経路不明者数の推移

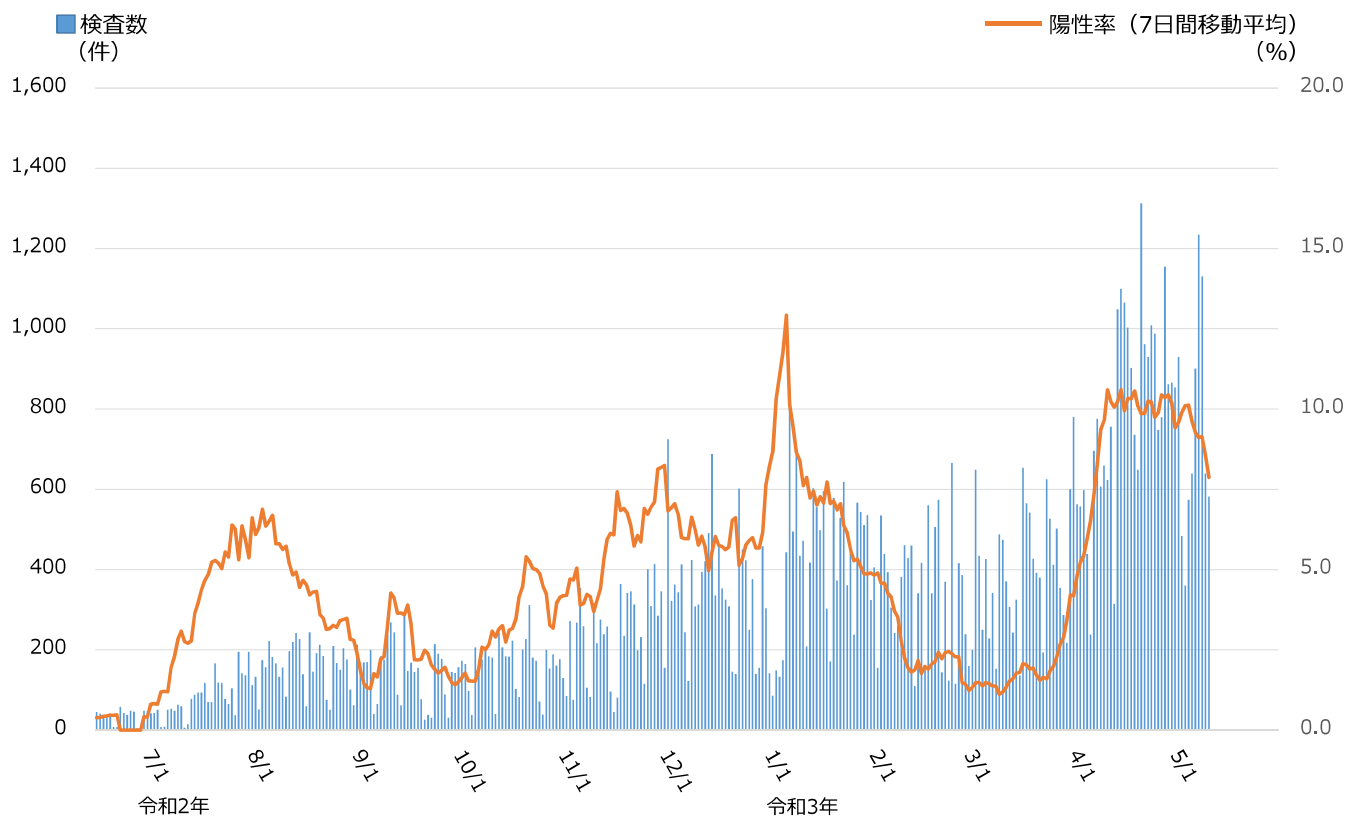


直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数



大阪市内の7日間ごとの人口10万人あたり陽性者数の推移：大阪市ホームページ（参照）改変

検査数と陽性率の推移



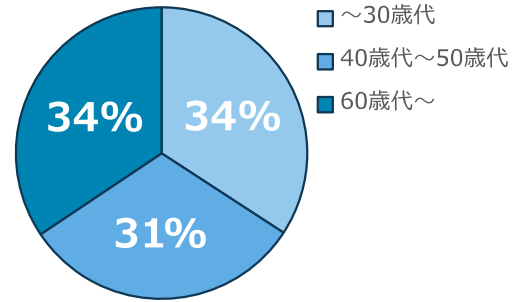
11月15日以前：市内医療機関等での検査者のうち堺市民
11月16日以降：市内医療機関等での検査者数合計
※3月10日以降の高齢者施設等の職員に対する集中検査を除く

○5月11日現在

直近1週間の感染経路不明者数



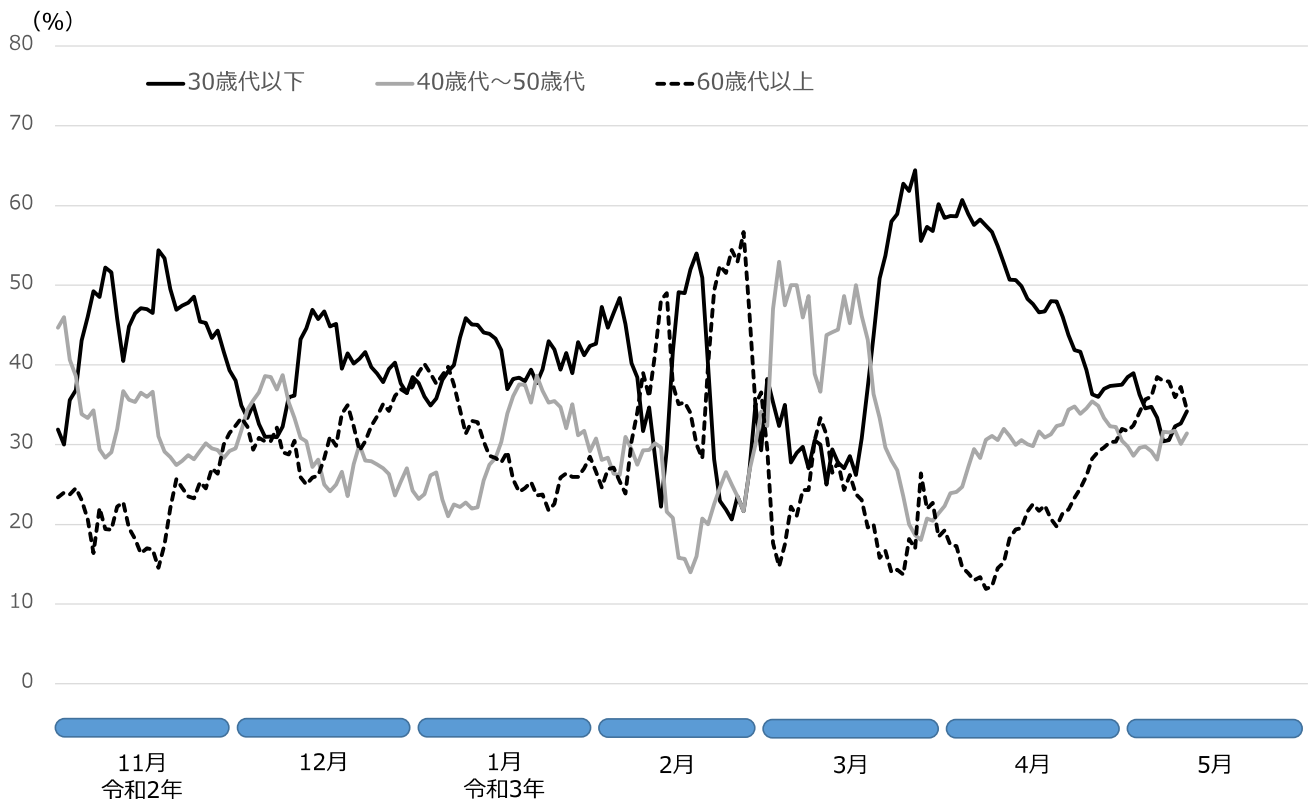
直近1週間の新規陽性者年齢構成割合



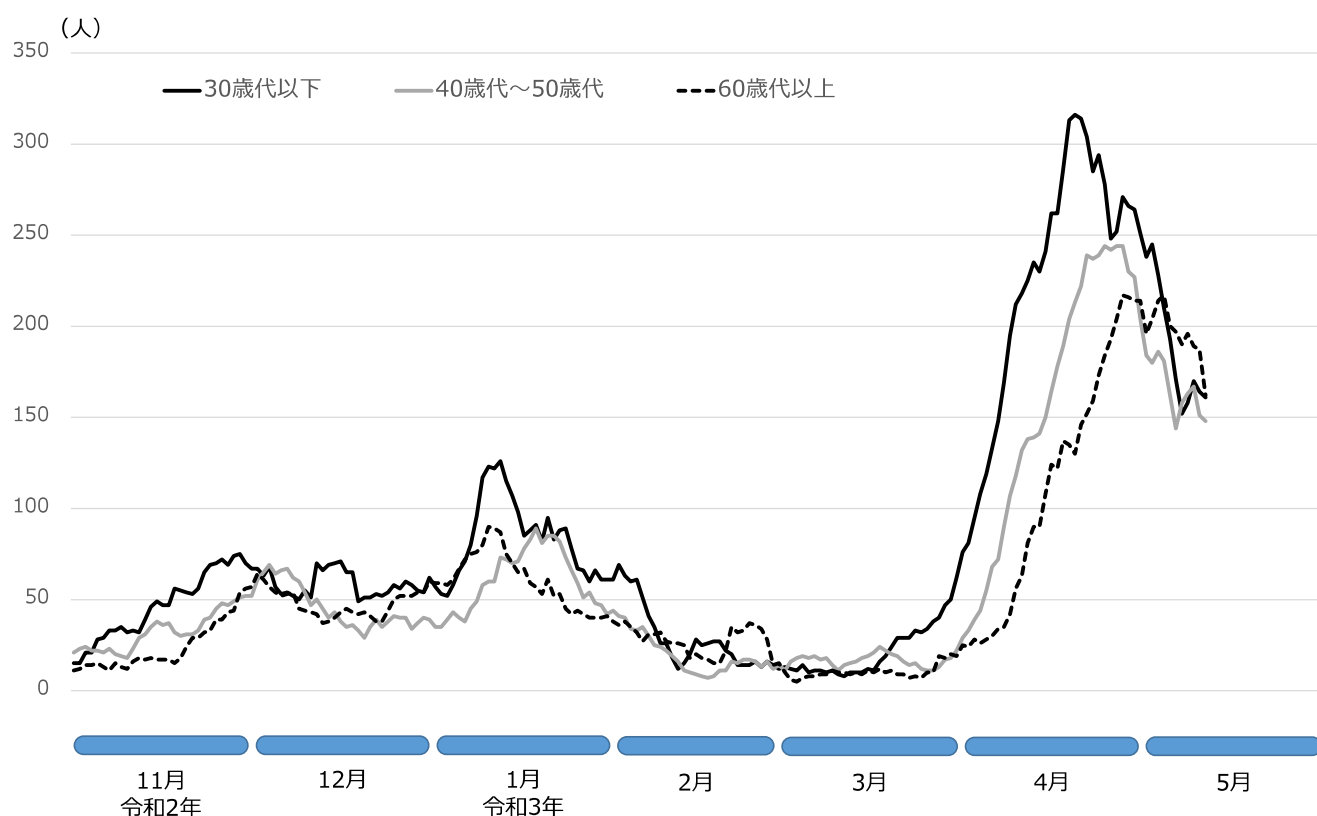
日付		5/4	5/5	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10
モニタリング指標								
直近1週間の 累積感染経路不明者数の増減傾向		↘	↘	↘	↘	↗	↗	↘
直近1週間の 新規陽性者 年齢構成割合	30歳代以下	34%	35%	33%	30%	31%	32%	33%
	40歳代~50歳代	30%	29%	28%	32%	32%	32%	30%
	60歳代以上	36%	36%	39%	38%	38%	36%	37%

直近1週間の新規陽性者の年齢構成割合は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

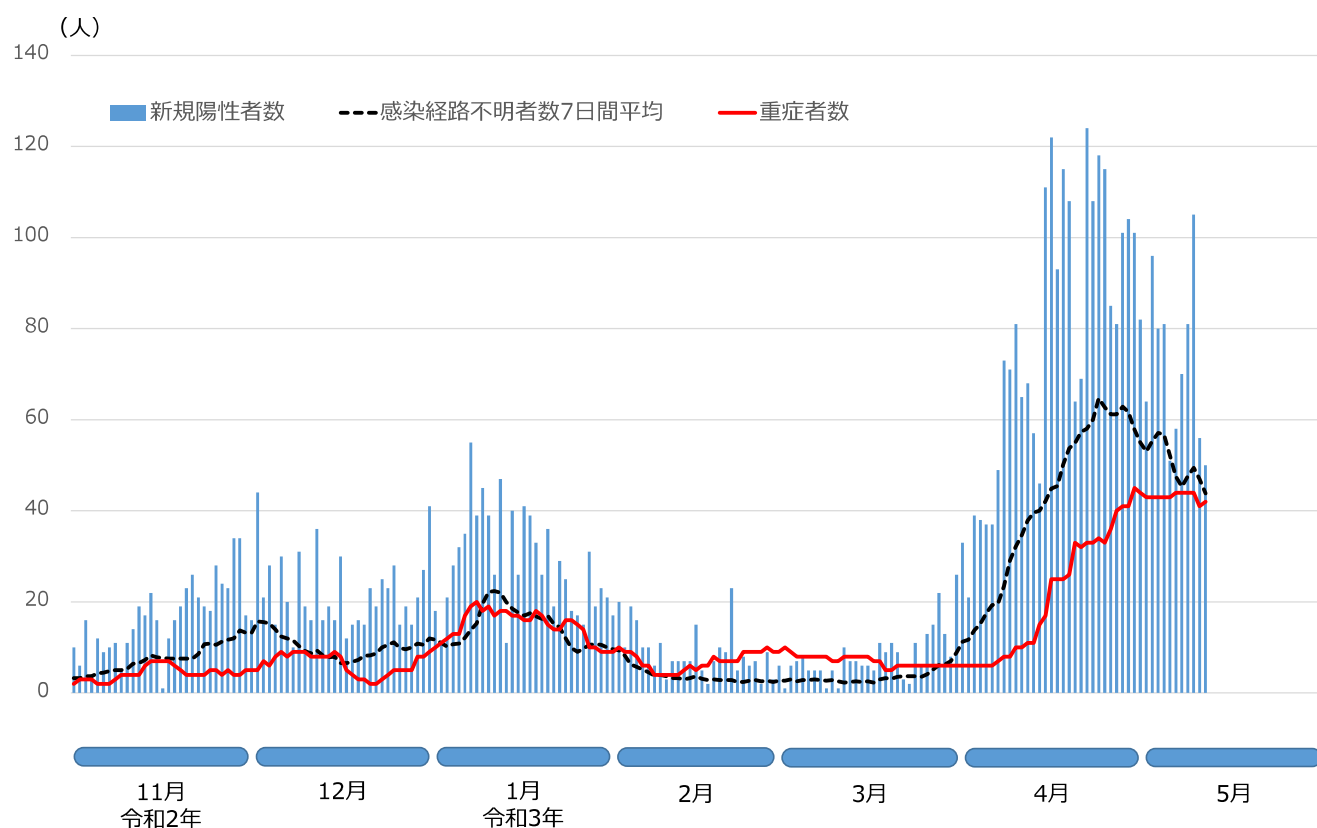
直近1週間の新規陽性者の年齢構成割合



年齢構成別直近1週間の新規陽性者累計



新規陽性者数等の推移



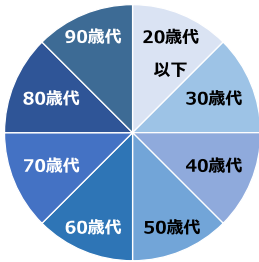
重症事例

○ 令和2年3月6日以降
令和3年5月11日までに
判明した 161事例の状況

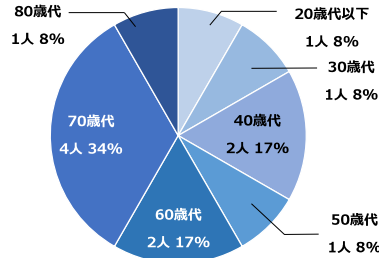
	経路判明	経路不明	陽性者数合計
人数	42人 (内クラスター関連16人)	119人	161人 (男性:114人 女性:47人)
構成割合	26% (内クラスター関連10%)	74%	100% (男性:71% 女性:29%)

○ 年齢構成割合

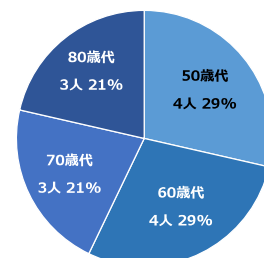
【凡例】



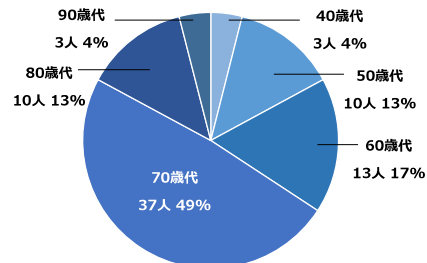
○ 令和2年3月6日以降5月13日まで (12人)



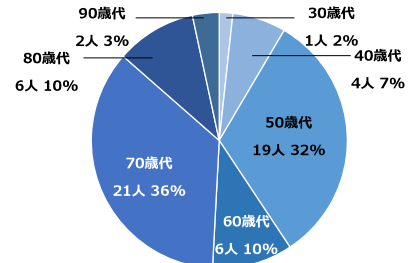
○ 令和2年6月16日以降10月3日まで (14人)



○ 令和2年10月5日以降令和3年3月10日まで (76人)



○ 令和3年3月11日以降5月11日まで (59人)



啓発ポスター（ゴルゴ13）



【掲示場所】

- ・ 市内の鉄道駅
- ・ 市内の飲食店
- ・ 市の関連施設

5月13日から順次掲示

ワクチン接種

高齢者ワクチンの予約・接種状況



【予約・接種状況（5月11日現在）】

○予約 30,147件 約12.9%

○接種 10,203件 約4.3%

※個別接種分は含まず

※接種人数は高齢者施設での接種分を含む

【今後の予定】

- 予約開始日 : 5月17日～ (65歳以上の方)
- 会 場 : 集団接種会場 7か所 (地域会場)
7か所 (医療機関)
個別接種会場 約330か所の医療機関

※集団接種会場の受付予定枠 約11,300件

ワクチンは、高齢者の皆様に十分行きわたる量が供給されます。
焦らずに安心してお待ちください。

5月12日市長定例記者会見

自宅療養支援

感染者増加によって入院可能病床がひっ迫

自宅療養者が増加

【自宅療養者数の推移】

日付	3月9日	3月16日	3月23日	3月30日	4月6日
人数	19人	31人	20人	73人	225人

日付	4月13日	4月20日	4月27日	5月5日	5月11日
人数	354人	635人	850人	832人	749人

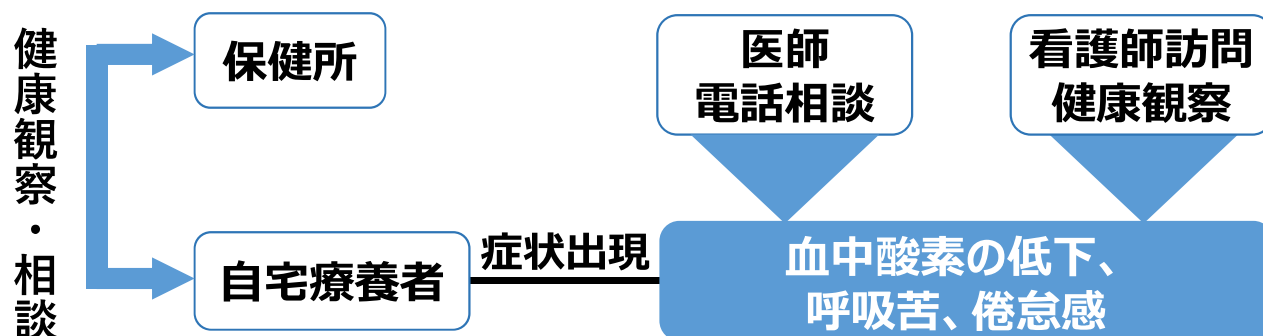
自宅療養者相談支援事業

【目的】 自宅療養者の重症化予防

【内容】 ・医師による健康相談体制強化
・看護師の訪問による重症化予防、早期対応

【対象】 自宅療養者のうち、保健所が必要と判断した方

【支援の流れ】



【目的】 安心できる療養支援の実現

【内容】 自宅療養者の濃厚接触者（家族等）に対し、無料で利用可能な宿泊施設を紹介

【対象】 以下のすべてに該当し、保健所が必要と判断する方

- ・自宅療養者の濃厚接触者（家族等）
- ・感染による重症化が特に懸念される方
（高齢者、基礎疾患のある方、妊娠している方など）
- ・宿泊施設で自立した生活を送ることが可能な方

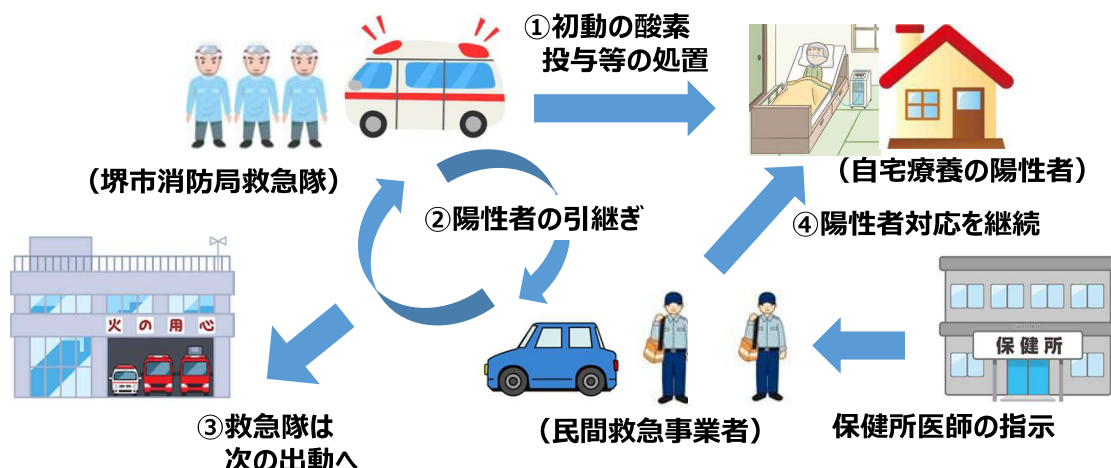
【支援の流れ】 保健所の保健師による感染リスクの把握

支援内容を調整・実施

民間救急事業者（救急救命士）との連携

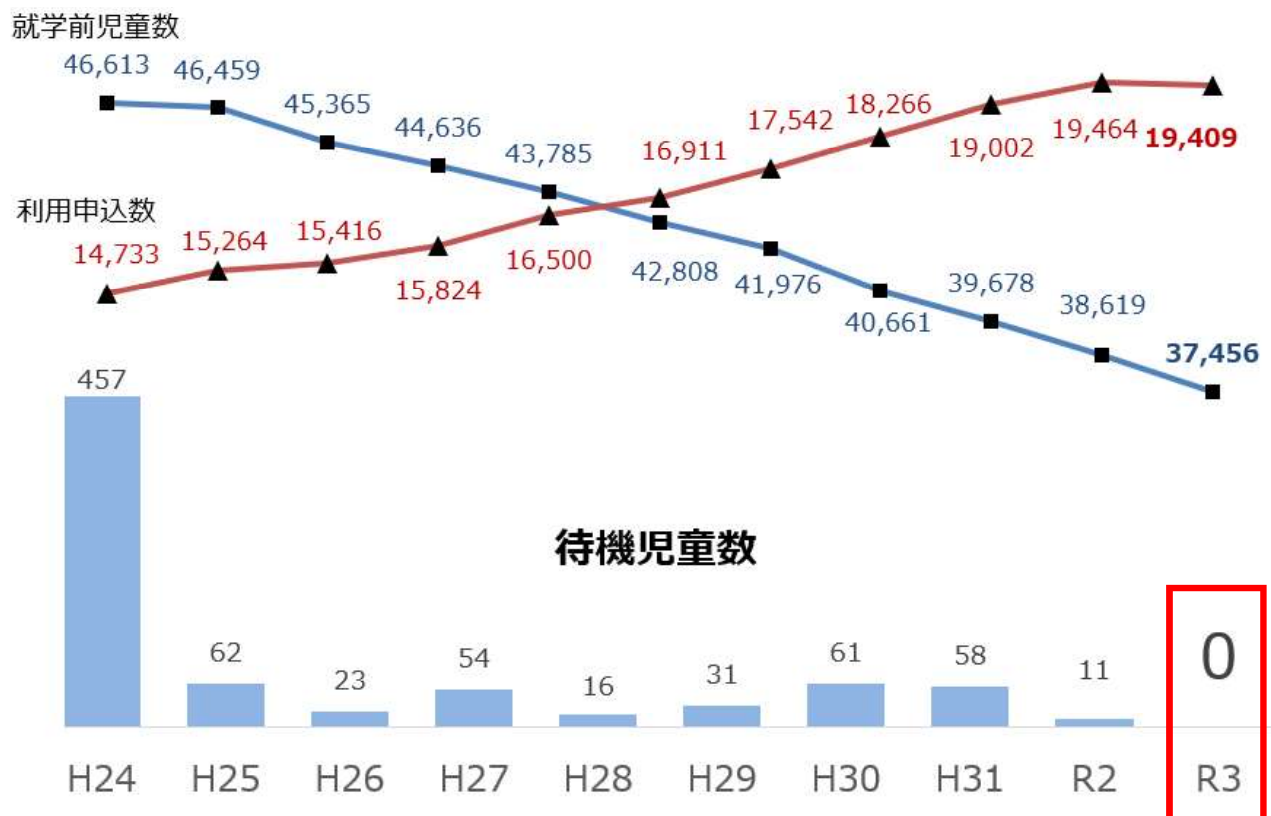
【連携の流れ】

- ①堺市消防局救急隊が初動処置（酸素投与など）
- ②民間救急事業者へ引継ぎ（症状安定）
- ③堺市消防局救急隊は次の出動へ
- ④保健所医師の指示のもと対応を継続



○待機児童数の公表

認定子ども園等利用待機児童数などの推移



施設の決定比率

